



全国 BTS 探訪

名張

第23回

編

(三重県)

大和（現在の奈良県）と伊勢神宮を結ぶ初瀬街道の宿場として発展し、江戸時代には名張藤堂家の城下町として栄えた名張市。伊賀流忍者の根拠地としても知られるこの地に三重県唯一のBTSがある。近鉄特急なら大阪難波から1時間弱、名古屋から1時間半弱で行くことができ、車中から伊賀越えを思い起こさせる景色を楽しめる。

古い街並みを抜けBTSへ

レース場のある津市の西側、奈良県との県境に接する名張市。山地に囲まれた伊賀盆地の南側に位置し、冬季は寒さが厳しいことでも知られている。近鉄大阪線の特急で大阪からも名古屋からも乗り換えなしで行くことができ、津からは特急で30分ちょっとで名張駅に行ける。

飯田佳江さんによる予想イベントも



BTS名張へは近鉄名張駅から1キロ強、徒歩でも15分程度。この道中には古い街並みが残っている。

野中和夫さんと名張出身の花本夏樹



て、登録有形文化財のプレートが貼られた家屋や商店も多く見られた。今回はレンタカーを借り車で向かったが、のんびり歩いていくのも楽しそうだ。

BTS名張は今年8月で10周年を迎える比較的新しい施設ではあるが、一般席には座席が100席と十分にあり、長く過ごすことができるファンからは好評だという。モンスターこと野中和夫さんが施設会長の会長を務めていて、年末の餅つき大会等でファンと触れ合う機会もあるそうだ。オールドファンはそんな機会に訪ねてみるのも良いだろう。

有料席はシングル席、ペア席そして6名までが利用できる個室が2部屋ある。17時以降は500円から利用できるのはうれしい。

全国BTS探訪

○移動時間の目安



BTS名張

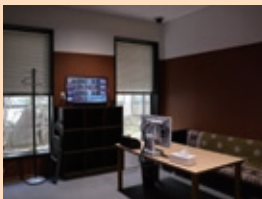
ボートレースチケットショップ名張

三重県名張市瀬古口30-1

窓口数 10窓 / 駐車場 約450台



一般席にも座席が十分にあり、くつろげる空間だ。有料席には各席に専用モニターを完備。6人まで利用できる個室は5千円と6千円の2室がある。



而今でおなじみの
木屋正酒造



伊賀牛焼肉定食

日本酒と忍者と滝と温泉

館内にレストランはないが、徒歩圏内に食事ができるところは多い。今回、勧められて行ったのは「ダイハン本店」。昔ながらの喫茶レストランといった風情のお店で、伊賀牛の焼肉定食は味も食べ応えも十分だった。

イベントとしては本誌の『わいらいトク』でもおなじみの元選手飯田佳江さんや坂口愛さんによる予想会や、豪華賞品が当たるガラポン抽選会が行われているので、公式ウェブサイトやXで確認しておきたい。

古い街並みの残る名張市。かつてこの地を治めた名張藤堂家邸跡といった史跡も見学できる。その街並みの中には、今や全国的な知名度を誇る日本酒「而今」の蔵元・

木屋正酒造もあった。残念ながら販売こそしていなかったが、趣のある外観は一見の価値がある。また、日本の推理小説の礎を築いた江戸川乱歩の生誕地でもあり、関連の碑がいくつかあった。

こうした古い街並みが残るエリアまでは、BTSから5分も歩けば行くことができる。食事をしにいくついでに散歩するといった感覚でふらっと歩くのにいい。

名張市の観光地として有名なのは「赤目四十八滝」。溪流に沿って多くの滝を目にすることができ、景勝地で、修験道の開祖・役小角が開いたとの伝説が残る。全行程を巡ると3時間ほどかかるだろうが、30分くらい歩くだけでも、これでもかというくらいマイナスイオンを浴びることができる。リフレッシュにはもってこいだ。

麓にある延寿院のしだれ桜（工

ドヒガン）は、桜の名所として知られている。今回はタイミングが合わなかったが毎年3月下旬から4月上旬が見頃だそう。

BTSから赤目四十八滝に向かう途中には「滝自慢酒造」の酒蔵や日帰り入浴もできる赤目温泉の旅館等もあるので、目的に応じて様々な楽しみ方ができるだろう。

ご当地グルメとしては伊賀牛を使った「牛汁」というものがあるそう。赤目温泉の旅館「山水園」で食べられると聞いて向かったのだが、前日までに予約が必要だったことで今回は食べられなかった。



伊賀上野城

城へ車で30分程度で行くことができる。大阪城の石垣とともに、日本でも最も高い石垣と言われる高石垣は壮観だ。